

令和3年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)
成果報告書

団 体 名	公益財団法人三重県文化振興事業団	
施 設 名	三重県総合文化センター 三重県文化会館	
助 成 対 象 活 動 名	公演事業・人材養成事業・普及啓発事業	
内 定 額 (総 額)	34,752	(千円)
	公 演 事 業	23,236 (千円)
	人 材 養 成 事 業	5,710 (千円)
	普 及 啓 発 事 業	5,806 (千円)

(1) 令和3年度実施事業一覧【公演事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	三重県文化会館 produce ソリストシリーズ	7月～12月	出演：遠藤真理（チェロ）、萩原麻未 （ピアノ）、小曽根真（ピアノ） 他	目標値	2,442
		大ホール		実績値	1,734
2	角田鋼亮指揮 新日本フィル ハーモニー交響楽団	7月11日	曲目：ベートーヴェン交響曲第7番 他 出演：牛田智大（ピアノ）	目標値	1,143
		大ホール		実績値	1,066
3	ニューイヤーコンサート 2022 新日本フィルハーモ ニー交響楽団	1月8日	曲目：喜歌劇「こうもり」序曲 他 出演：小林沙羅（ソプラノ）	目標値	1,214
		大ホール		実績値	853
4	ハンガリー国立歌劇場 オペラ「魔笛」	11月4日※	新型コロナウイルス感染症の影響に より中止。	目標値	923
		大ホール		実績値	-※
5	黒田卓也カルテット Special Guest TSUKAMOTO SISTERS	11月13日	曲目：Bitter and High 他	目標値	760
		中ホール		実績値	441※
6	ワンコインコンサートシ リーズ	4月～12月	出演：神谷百子（マリンバ） 他	目標値	7,326
		大ホール		実績値	4,907※
7	口口「四角い2つのさみし い窓」	8月21・22日	脚本・演出：三浦直之 出演：亀島一徳 他	目標値	210
		小ホール		実績値	139※
8	朗読アウトリーチ M- PAD2021	11月	演目：「トカトントン」 他 出演：林英世 他	目標値	448
		県内各地		実績値	507
9	第七劇場「桜の園」	10月9・10日	構成・演出・美術・訳：鳴海康平 出演：木母千尋 他	目標値	315
		小ホール		実績値	220※
10	烏丸ストロークロック 「祝・祝日」	11月13・14日	作・演出：柳沼昭徳 出演：澤雅展 他	目標値	140
		センター日本庭園		実績値	144
11	オンステージコンサート	6月～12月	出演：亀井聖也（ピアノ）、椿三重奏 団	目標値	240
		大ホール舞台		実績値	244
12	オンステージシアター	5月～12月	出演：ままごと、うさぎストライプ	目標値	280
		中ホール舞台		実績値	298

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(2) 令和3年度実施事業一覧【人材養成事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	第28回 新日本フィル演奏クリニック	1月～2月※	新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	目標値	400
		センター各所		実績値	-※
2	三重ジュニア管弦楽団育成事業2021	通年※	指揮・事務局長：梶吉宏	目標値	60
		センター各所		実績値	55
3	第23回舞台創造講習会	4月～6月※	新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	目標値	300
		センター各所		実績値	-※
4	青年団監修 戯曲アカデミア	6月～3月	講師：平田オリザ、大池容子、松井周	目標値	27
		センター各所		実績値	16

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(3) 令和3年度実施事業一覧【普及啓発事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	新日本フィル29市町巡回事業	6月～1月※	演奏・ワークショップ：新日本フィル弦楽四重奏 他	目標値	1,000
		亀山市内各所		実績値	482※
2	OiBokkeShi×三重県文化会館‘介護を楽しむ’‘明るく老いる’アートプロジェクト	通年※	ワークショップ講師：菅原直樹	目標値	100
		尾鷲市内各所		実績値	45※
3	三重県文化会館 Produce 子どもたちの実演芸術の鑑賞・体験機会の拡充事業	6月～3月	演目：「にんぎょひめ」 他 出演：to R mansion 他	目標値	700
		センター各所		実績値	605
4	加羽沢美濃のクラシック音楽講座	6月～3月	ゲスト出演：若林顕（ピアノ） 他	目標値	240
		センター各所		実績値	264
5	文化体験パートナーシップ活動推進事業	通年※	講師：三重県三曲協会 他	目標値	2,300
		県内小学校		実績値	1,835※

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

2. 自己評価

(1) 妥当性

自己評価
<p data-bbox="114 297 1481 387">社会的役割等（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。</p> <p data-bbox="114 387 1481 633">公演事業では多彩なジャンルでハイレベルな公演ラインナップを組むことで、年間を通じて賑わいのある劇場づくりをミッションとして目指しており、特に「三重県文化会館 produce シリーズ」「ワンコインコンサートシリーズ」「オンステージシリーズ」などのシリーズものについてはブランド化によるファン拡大を図っている。コロナ禍の影響で海外オペラ公演は中止となったものの、その他公演事業については計画通りに実施することができた。</p> <p data-bbox="114 633 1481 880">人材養成事業では芸術系の専門教育機関がない三重県で、プロの指導が受けられる機会提供をミッションとして目指しているが、コロナ禍の影響で、「第28回新日本フィル演奏クリニック」と「第23回舞台創造講習会」が中止となった。また、「三重ジュニア管弦楽団育成事業」もまん延防止等重点措置等の影響で毎月の練習が実施できない期間もあった。一方で「青年団監修戯曲アカデミア」については、オンライン講習を活用するなどの工夫により、すべての計画を実施することができた。</p> <p data-bbox="114 880 1481 1211">普及啓発事業では南北に長い三重県の地域特性を鑑み、アウトリーチ事業や広域の社会課題に取り組むことをミッションとして目指しており、「新日本フィル 29 市町巡回事業」を亀山市で、「‘介護を楽しむ’ ‘明るく老いる’ アートプロジェクト」を尾鷲市で実施した。また、「文化体験パートナーシップ活動推進事業」は県内各地の小学校で出前授業を実施した。いずれの事業も一部プログラムがコロナ禍で延期や中止となったが、計画通り実施できたプログラムでは十分に事業目的を達成することができた。</p>
助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。
<p data-bbox="114 1261 1481 1310">① 文化的意義</p> <p data-bbox="114 1310 1481 1458">三重県のリーディングホールとして市町劇場公演と一線を画したハイレベルな鑑賞機会を提供しており、三重県の芸術鑑賞環境の向上に大きく寄与している。また、芸術系の専門教育機関がない三重県において、プロの指導を受けられる人材養成事業によって、アーティストのレベルアップが図られている。</p> <p data-bbox="114 1458 1481 1507">② 社会的意義</p> <p data-bbox="114 1507 1481 1753">「新日本フィル 29 市町巡回事業」は‘音楽で町を元気に’を合言葉にしたアウトリーチ事業であり、市町が望む教育現場や福祉施設等にアーティストを派遣することで、地域活性化に大きく寄与している。また「‘介護を楽しむ’ ‘明るく老いる’ アートプロジェクト」は、高齢者の生きがいづくりに取り組む先進事例として、その社会的意義が全国からも認知されている。その他「子どもたちの実演芸術の鑑賞・体験機会の拡充事業」も青少年健全育成など社会的意義が大きい取り組みである。</p> <p data-bbox="114 1753 1481 1803">③ 経済的意義</p> <p data-bbox="114 1803 1481 2047">公演事業の「ワンコインコンサートシリーズ」や「M-PAD」は近隣飲食店とコラボレーションした事業であり、経済波及効果を創出している。また当館の賑わいある劇場づくりによって、コンサートから講演会、発表会、稽古事、学会、企業活動など多種多彩なイベントが年間を通じて開催されており、地域経済への波及効果は極めて大きい。</p>

(2) 有効性

自己評価

目標を達成したか。

1) 公演事業の目標達成状況は以下の通り、満足度は概ね達成したが、集客目標はコロナ禍の影響で一部未達となった。

① 音楽ジャンルの自主制作・プロデュース公演

【目標】1) 公演満足度 (5段階評価上位2位) 95%以上、2) 来場者総数 10,528人以上【実績】1) 98.5%、2) 7,082人

② 新日本フィルハーモニー交響楽団定期公演

【目標】1) 公演満足度 (5段階評価上位2位) 95%以上、2) 平均入場者 1,178人以上【実績】1) 96.9%、2) 960人

③ 演劇ジャンルの自主制作・プロデュース公演

【目標】1) 公演満足度 (5段階評価上位2位) 95%以上、2) 来場者総数 315人以上【実績】1) 93.8%、2) 220人

④ M-PAD

【目標】1) 事業満足度 (5段階評価上位2位) 90%以上、2) 来場者総数 440人以上【実績】1) 97.5%、2) 507人

⑤ ハイレベルな舞台芸術鑑賞機会の提供事業を含むホール公演事業

【目標】1) 年間公演満足度 (5段階評価上位1位) 60%以上、2) 年間来場者総数 13,000人以上【実績】1) 66.7%、2) 8,268人

⑥ 音楽・演劇両分野のオンステージシリーズ

【目標】1) 年間公演満足度 (5段階評価上位2位) 90%以上、2) 年間来場者総数 520人以上【実績】1) 95.6%、2) 542人

⑦ 英語版・点字パンフレット配布

【目標】1) 英語版配布公演数 17公演、2) 点字配布公演数 15公演【実績】英語版 17公演、点字 12公演

2) 人材養成事業の目標達成状況は以下の通り、コロナ禍の影響で一部プログラムが実施できなかったことで、参加者数が未達となった。

① 新日本フィルハーモニー交響楽団による人材養成事業

【目標】1) 事業満足度 (5段階評価上位2位) 90%以上、2) 参加者総数 460人以上【実績】1) 85.4%、2) 参加者総数 55人

※クリニック事業は中止。

② 第七劇場による人材養成事業

【目標】1) 事業満足度 (5段階評価上位2位) 90%以上、参加者総数 300人以上【実績】コロナ禍のため事業中止。

③ 青年団監修・戯曲講座

【目標】参加者総数 27人以上【実績】参加者総数 16人

3) 普及啓発事業の目標達成状況は以下の通り、コロナ禍の影響で一部プログラムが実施できなかったことで、参加者数が未達となった。

① 新日本フィルハーモニー交響楽団による普及啓発事業

【目標】1) 10プログラム以上、2) 参加者総数 1,000人以上【実績】1) 11プログラム、2) 482人

② ‘介護を楽しむ’ ‘明るく老いる’ アートプロジェクト

【目標】1カ所以上の巡回公演を実施【実績】尾鷲市巡回公演はコロナ禍のため令和4年度に延期

③ 子どもたちの実演芸術の鑑賞・体験機会の拡充事業

【目標】2回以上の公演を実施および新規プログラムの開発を1プログラム開発。【実績】親子向け2公演実施。絵本コンサート試演会実施。

① 加羽沢美濃のクラシック音楽講座

【目標】1) 参加者総数 240人以上、事業満足度 (5段階評価上位2位) 90%以上【実績】1) 264人、2) 94.9%

⑤ 学校アート出前事業

【目標】実施校数 65校以上【実績】実施校数 54校

(3) 効率性

自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。

令和3年度事業計画21事業（助成対象事業）に対し、新型コロナウイルス感染症の影響で公演事業1本と人材養成事業2本が中止となった。また、通年実施の人材養成事業や普及啓発事業では、まん延防止等重点措置等の影響で一部プログラムが中止または延期となった。その他事業は一部で年度内日程変更が生じたものの、ほぼ計画通りの期間と開催日で実施した。

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

令和3年度事業計画（助成対象事業）に対する実績は以下の通りとなった。

- ① 申請時総事業費 92,114,000円
- ② 実績総事業費 67,688,888円
- ③ 差額（①－②） 24,425,112円

申請時の計画に対し事業費は大きく減少した。主な要因は以下のとおり。

- (1) 海外招へいオペラ公演の中止 $\Delta 17,471,000$ 円
- (2) 新日本フィル演奏クリニックの中止 $\Delta 3,046,521$ 円
- (3) 老いのプレーパーク巡回公演の延期 $\Delta 1,599,504$ 円

引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で事業が中止・延期するケースが発生しているが、計画通り実施できた事業については適切にコントロールできている。

(4) 創造性

自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

公演事業では、地域拠点契約を結ぶ新日本フィルハーモニー交響楽団の定期公演、東京から三重に拠点移動した当館の準フランチャイズカンパニーである第七劇場の新作演劇公演など、当館と深い結びつきのあるカンパニーと魅力ある公演を企画している。また、芸術監督の役割を兼ねた梶吉宏館長と音楽系のプロデューサーで、魅力ある公演シリーズを企画しており、全国的に成功事例として知られる「ワンコインコンサートシリーズ」をはじめ、「三重県文化会館 produce シリーズ」「オンステージコンサートシリーズ」など、公演単体ではなくシリーズ顧客を獲得するような公演ラインナップを組んでいる。また、演劇プロデューサーを兼ねた松浦茂之副館長と演劇係で、特色ある演劇公演にも取り組んでおり、令和3年度も食事と演劇を組み合わせたアウトリーチ公演「M-PAD」や、野外公演「烏丸ストロークロック『祝・祝日』」など、際立った個性を持つ公演を企画している。

人材養成事業では、平成13年以来の長いつながりを持つ平田オリザ氏主宰の劇団・青年団が監修する戯曲講座「戯曲アカデミア」がプロ劇作家の輩出を目指しているほか、「新日本フィル演奏クリニック」「三重ジュニア管弦楽団育成事業」では、新日本フィルハーモニー交響楽団の楽団員が三重のアマチュア演奏家の演奏指導にあっている。（令和3年度演奏クリニックはコロナ禍のため中止）また、第七劇場も高校演劇部のレベル向上を図る「舞台創造講習会」で講師を担っている。（令和3年度はコロナ禍のため中止）

普及啓発事業では、新日本フィルが1年1市町を選んで音楽を届ける「新日本フィル29市町巡回事業」や、芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞したOiBokkeShi 主宰・菅原直樹氏と協働する「‘介護を楽しむ’‘明るく老いる’アートプロジェクト」など、全国的にも先進的な事業を企画している。

自己評価

地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながった（と認められる）か。

- 1) 公演事業では、「音楽ジャンルの自主制作・プロデュース公演」「新日本フィルハーモニー交響楽団定期公演」「M-PAD」「オンステージシリーズ」などで目標を大きく上回る満足度を記録しており、顧客から高い評価を得ている。アンケート結果からは、公演内容への賛辞とともに、新型コロナウイルス感染症への安全対策にも高い評価をいただいている。
- 2) 公演事業の「オンステージシリーズ」は、コロナ禍でも楽しめる極上の公演シリーズとして開始当初から大きな評判をいただいております。令和3年12月16日付中日新聞において、「客席は舞台の上 コロナ禍の制限逆手に臨場感 三重県文化会館」という記事タイトルで大きく掲載された。文中では観客の声として、「ピアノを弾く指の動きまで見える」「ペダルを踏む振動まで伝わってきた」などと絶賛する声が紹介されている。
- 3) 公演事業の「M-PAD」は、料理と演劇（朗読）を楽しむアウトリーチ事業として全国的に注目いただいております。令和3年11月27日付WEBニュースサイト：ステージナタリーの公演レポートで、「料理も芝居も“いつどこで誰と何を楽しむか”、舌と心を満たす「MPAD2021」開催」という記事タイトルで掲載された。文中では俳優らの熱演の様子やおいしい食事を楽しむイベント風景がレポートされた。
- 4) 普及啓発事業の「新日本フィル 29 市町巡回事業」は、音楽で町を元気にする社会貢献型事業として注目を集めており、令和3年7月2日付中日新聞において、「新日本フィルの音、身近に 実演や指導、亀山で交流開始」という記事タイトルで大きく掲載された。文中では出前授業を体験した小学生の声として、「きれいな音で校歌を奏でてびっくりした」「いろいろな音色がたくさん聴けたので楽しかった」といった子どもたちの感動の声が紹介されている。
- 5) 普及啓発事業の「OiBokkeShi × 三重県文化会館 ‘介護を楽しむ’ ‘明るく老いる’ アートプロジェクト」は既に雑誌「地域創造」などで大きく特集されるなど、先進事例として全国的に知られているが、令和4年3月1日に発刊された森話社発行『『地域市民演劇』の現在—芸術と社会の新しい結びつき』でも、第9章「超高齢社会における高齢者演劇の展開」で当館の取り組みが紹介されている。県内でも市町行政の福祉分野が高い関心を示しており、OiBokkeShi 主宰の菅原直樹氏による「介護と演劇 体験ワークショップ」や「老いのプレーパーク巡回公演」の市町開催へ多くの要望をいただいている。

(5) 持続性

自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

当事業団は業界では数少ない IS09000 の認証登録を受けている公益法人であり、組織と業務運営全般に P D C A サイクルに基づくマネジメントシステムが確立している。

1) 事業運営

主催事業はすべて顧客アンケート結果を評価・分析し、集客数（参加者数）や事業収支と合わせて総合評価を行い、次年度以降の事業計画においてスクラップ&ビルドを行っている。

2) 経営戦略

IS09000 品質マネジメントシステムに基づき、中期経営計画及び年度事業計画を立案している。中期経営計画では5年間の経営ビジョンや目標を定め、中長期アクションプランに反映している。

3) 人事戦略

IS09000 品質マネジメントシステムに基づき、全体研修計画・部門研修計画・OJT 研修計画を立案している。年度末には個人目標に対する達成状況を主に人事査定を実施し、次年度以降の研修計画に活かしている。

4) ネットワークの構築

事業連携や運営ノウハウの情報交換を目指し、幅広いネットワークを構築している。県内では公立文化施設協会の会長館として市町劇場と連携を図り、事業連携では劇場音楽堂等連絡協議会を主に、全国的に事業連携を図っている。